

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

令和2年3月集計(回答者:常勤5名)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2	1	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			5	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			5	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか			5	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			5	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2	1	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	3		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	4		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	3			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1		4	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		2	3	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		1	4	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			5	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			5	
	35	個人情報に十分注意しているか	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	3	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	4		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1		4	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2	1	

保護者等向け

放課後等デイサービス

令和2年3月集計(配布枚数:22枚 回収枚数:14枚)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	5		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	11	3		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	7	4	3	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	6	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	7	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	1	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	5	1	
	14	個人情報に十分注意しているか	11	3		
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	8	1	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	5	1	
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14			
	18	事業所の支援に満足しているか	14			

職員による自己評価

A環境面

- ・障がい特性に合わせフロアを分けることで事故の軽減に努めている。
- ・活動スペースが広いことでのびのびと過ごせていると感じるが、活かしきれていない面もある。
- ・広い分、死角も多く注意が必要。
- ・活動中の人員は十分確保できている。

B児童への支援内容

- ・利用児一人ひとりの出来る事、やりたい事を優先し支援に努めることができている。
- ・プログラムが固定化しているため、徐々にできることが増えている。
- ・プログラムに偏りはあるものの、利用児の様子や作業の見通しが立てやすい点も含めると適切と感じる。
- ・職員が適切な接し方ができていると感じる。
- ・利用児の出来ることの差が大きいため、個々に合ったプログラム作成が課題を感じる。支援計画に基づいた活動内容を更に模索していく必要性を感じる。

C関係機関との連携

- ・保護者を通しての情報共有が多く、直接の関わりは少ない。連携を強化していきたいと感じる。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・適宜、相談などを受け出来る限りの支援を行えている。職員ごとに関わりの差はみられる。
- ・口頭や連絡帳で細かなことでも保護者へ報告するよう努めている。

E非常対応

- ・避難訓練の実施、非常時の各種マニュアルが作成されている。
- ・予想される事故に対しミーティングで話し合えている。

保護者による評価

A環境面

- ・設備、スペースに関しては十分との意見が多い。
- ・職員の配置数に関して、誰がどのように配置されているのか分からず不明確。

B児童への支援内容

- ・様々な場所の外出支援やお買い物に連れてってもらえるのはありがたい。
- ・プログラムが固定化（料理）されている印象を受けている意見が多くあり。
- ・子供ボランティアは高評価。反面、障がいのない子供との関わりを希望されない意見もある。

C事業所からの情報発信

- ・父母会や保護者会の開催を行っていないので保護者同士の連携は不十分。
- ・ホームページや会報等での情報発信が少ないと感じる回答が目立つ。

D非常対応

- ・不明意見が多く、各種マニュアルに対する周知が行き届いていない。

E満足度

- ・利用児が通所を楽しみにしているとの意見多くあり。

事業所内での分析

【共通点】

- ・職員、保護者ともに、プログラムに関して固定化されていると感じている。
- ・利用児が楽しんで通所できることを最優先に考えられており、楽しんで利用してもらっていると感じている。

【相違点】

- ・人員配置、マニュアル、行事など事業所内では周知、整備されていることが保護者に伝えきれていない。

